

# 児童教育学科 「小学校教育実践研究会」 での学び

小学校教員採用試験

96.6%の実績  
正規合格率

第1部 (14:30-15:15)

演題 「生まれ変わってもなりたい  
小学校教員の魅力」

学校は「ブラック」になっている...と言われますが、本当でしょうか。私は、もう一度生まれ変わっても、「小学校教員」になりたいと願っています。本講演では、私の38年間の小学校教員生活で体験した、他の職業では得られない魅力的な出来事や児童・保護者との関わりについてお話ししたいと思います。また、2009年度から広島女学院大学で始めた「小学校教育実践研究会」についてもお話しします。これは、小学校教員の養成を目的とする研究会ですが、小学校教員採用試験【広島県・市】正規合格率96.6%という実績を上げていますので、その活動理念や指導の実際もお伝えします。

講師プロフィール

広島女学院大学人間生活学部児童教育学科前特任教授・呉市立小学校元校長。安芸郡・呉市で小学校教員として勤務。専門は算数科。現在、広島女学院大学非常勤講師。

講師

曾川昇造

前特任教授  
広島女学院大学人間生活学部児童教育学科

第2部 (15:20-16:00)

講話者 本学科卒業生 (公立小学校教員)

演題 「小学校教員になるまでとなった後」

本学科の「小学校教育実践研究会」で学び、小学校の教員になった3名の卒業生がフリートークでお話しします。入学前に考えていたこと、在学中の必勝勉強法や、学科の教員と学生との関係、チームワークのよさなど、小学校教員採用試験正規合格率96.6%の実績の理由について話します。そして、実際に小学校の教員になってからの「やりがい」に関して語ります。

日時

12月14日(土)

14:30(受付:14:00)~16:00

会場

広島女学院大学  
ヒノハラホール5F

広島市東区牛田東4-13-1

TEL 082-228-0386 (代)

入場  
無料

小学校教員志望の高校生・学校関係者のみなさま大歓迎です!多数ご参加ください!!